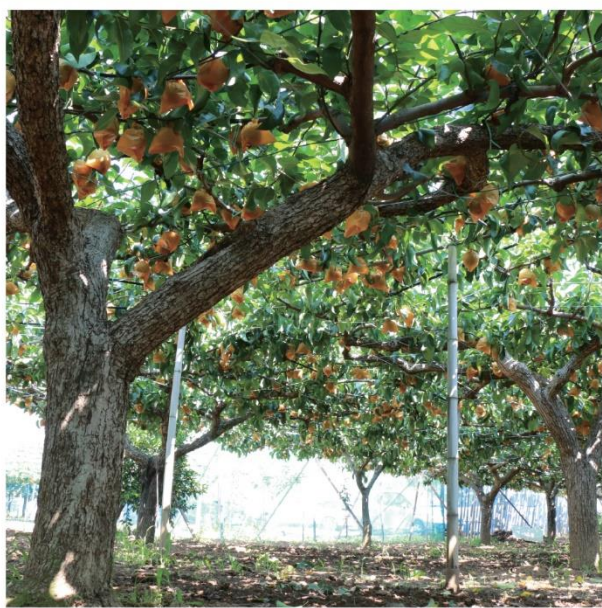
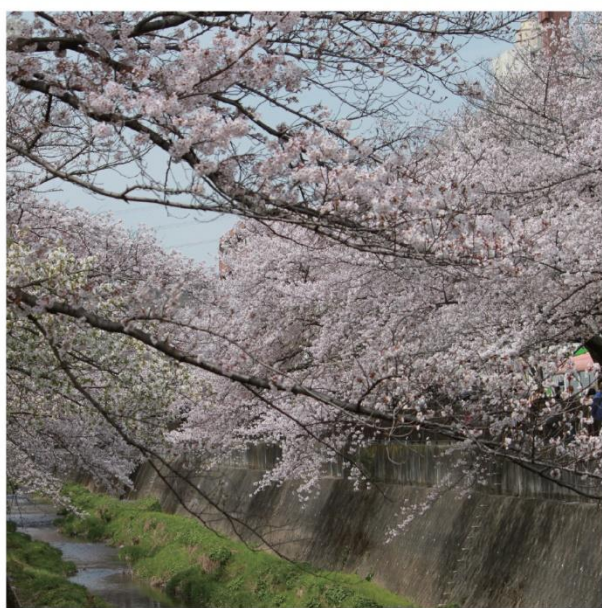
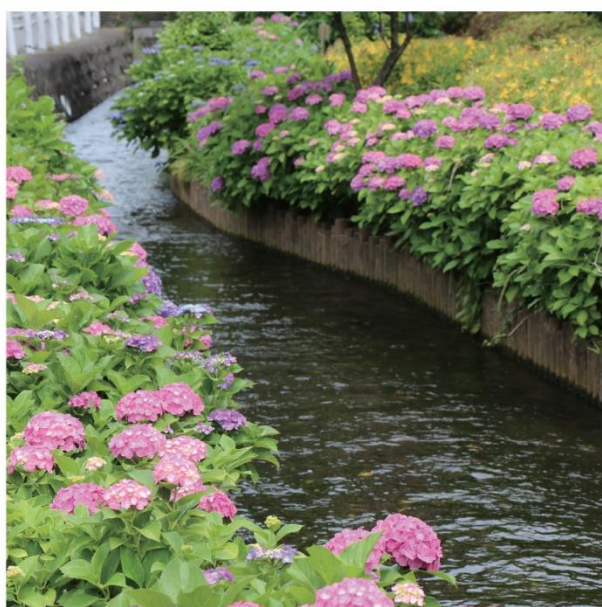


# 第三次稲城市環境基本計画

令和5年度～令和14年度

水と緑につつまれ 地域循環共生圏をめざすまち 稲城  
～カーボンニュートラルな未来のために～



稲城市

## はじめに

稲城市では、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 15（2003）年 3 月に「稲城市環境基本条例」に基づく「稲城市環境基本計画」を策定しました。平成 25（2013）年 3 月には同計画を改定し、引き続き環境施策を推進してきたところです。

近年は、地球温暖化による気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生しており、我が国においても、激甚な豪雨、台風災害や猛暑が頻発し、全国各地で大きな影響を受けております。

平成 30（2018）年に公表された IPCC「1.5°C 特別報告書」では、「世界全体の平均気温の上昇が 2°C を十分下回り、1.5°C の水準に抑えるためには、CO<sub>2</sub> 排出量を 2050 年までに実質ゼロとすることが必要」とされており、我が国においては、令和 2（2020）年に、令和 32（2050）年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、本市においても、令和 5（2023）年 2 月に「稲城市カーボンニュートラル宣言」を行いました。

また、プラスチックごみによる海洋汚染や、食品ロス、生物多様性など、環境行政を取り巻く状況は多様化し、大きく変化しております。

こうした状況を踏まえ、本市では、「第三次稲城市環境基本計画」の基本理念である『水と緑につつまれ 地域循環共生圏をめざすまち 稲城 ～カーボンニュートラルな未来のために～』の実現を目指し、「美しい自然環境の保全と調和」、「カーボンニュートラルの実現」、「循環型社会の構築」、「安全・安心で快適なくらしの確保」、「環境教育・環境保全活動の推進」について、市民・事業者・学校・市の連携・協働により取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、環境審議会でのご審議や、アンケート調査、パブリックコメントなどご意見をいただいた皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。

令和 5 年 3 月

稲城市長

高橋 勝浩



# 目 次

<b>第1章 計画の基本的な事項</b>	
1. 計画策定の背景と目的	2
2. 計画の位置付け	3
3. 計画の対象	4
4. 計画の期間	4
5. 計画の推進主体	5
<b>第2章 環境に関する社会情勢</b>	
1. 国内外の動向	8
2. 東京都の動向	14
3. 稲城市の動向	16
<b>第3章 稲城市の環境の現状と課題</b>	
1. 稲城市の概況	20
2. 自然環境	30
3. 生活環境	40
4. 地球環境	46
5. 環境教育・環境保全活動の取り組み	48
6. 意向調査の概要	51
7. 稲城市の環境課題	54
<b>第4章 稲城市が目指す環境像と基本方針</b>	
1. 稲城市が目指す環境像	62
2. 環境像を実現するための基本方針	64
3. 本計画に内包する計画	66
<b>第5章 施策の展開</b>	
1. 施策の体系	70
2. 施策の展開	72
<b>第6章 市民・事業者・学校の環境配慮指針</b>	
施策の柱1（美しい自然環境の保全と調和）	94
施策の柱2（カーボンニュートラルの実現）	96
施策の柱3（循環型社会の構築）	98
施策の柱4（安全・安心で快適なくらしの確保）	100
施策の柱5（環境教育・環境保全活動の推進）	101
<b>第7章 計画の推進方策</b>	
1. 計画の推進体制	104
2. 進行管理の仕組み	106

## 資料編

資料 1. 稲城市環境基本条例	108
資料 2. 策定経緯	113
資料 3. 稲城市環境審議会名簿	113
資料 4. 諮問・答申	114
資料 5. 庁内検討委員会名簿	116
資料 6. 環境に関する市民・事業者アンケート調査結果	117
資料 7. 用語解説	136